

## 【公開Ⅰ】6年1組 社会科指導案

北舎3階多目的ホール 高木 俊裕

### 1 単元名 「歴史との対話」

### 2 指導の立場

#### (1) 題材について

本校では、義務教育学校という特性を生かし、6年生での歴史学習、後期課程での歴史的分野の学習内容を精査し、カリキュラムを編成している。

本単元は、中学校学習指導要領（平成29年告示）解説の歴史的分野の「内容A（1）（2）及び小学校の内容（2）アイ（ア）」にもとづく単元である。具体的には、身近な地域の歴史学習や年表の読み取りなどの活動を通して、時期や年代の推移、現在の私たちとのつながりなどに着目して、歴史上の人物や文化財、出来事などを理解したり、時代区分との関わりなどについて考察したりする。また、自らが生活する地域や受け継がれてきた伝統や文化に興味や関心をもち、児童が歴史と自分たちとの関係をより具体的に考えることができるようにしたい。そのために、関ヶ原古戦場記念館を活用し、歴史的な背景や地域的な環境、私たちとの関係などに着目して、歴史を追究する方法を学ぶ機会にするとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現することができるようにしたい。

#### (2) 児童生徒について

児童は社会科におけるこれまでの学習において、単元の最初に教科書などを基に自分たちの知的好奇心、興味・関心、疑問などから『問い』を立て、それを解決することで学びを進めてきた。政治の学習では『内閣総理大臣がどのように選ばれているのか』という『問い』を解決していく中で、「どうして内閣総理大臣は国民が決められないのか。」という新たな疑問を

生みだし、現代の政治の仕組みをより深く考えてきた。

児童に「歴史ってどんな学習をするの?」と尋ねたところ、「昔のことを知る学習」や「歴史上の人物が何をしたのかを覚える学習」などと発言した。児童にとって、歴史とは、昔の出来事を「知る」、「覚える」といった意識がある。このような実態にある児童であるからこそ、「歴史を学ぶ」だけではなく「歴史で学ぶ」意味を一緒に考えたい。

#### (3) 指導について

本時は、「歴史を学ぶ意味は何か。」を考える実践である。そのために、関ヶ原古戦場記念館の見学を通して見いだした『問い』を解決していく中で、戦いに関係した人物の人間関係や戦いの様子、原因、作戦の意図などを知るだけに留まらず、自分自身の社会的事象の捉え方を見直すきっかけを提供する。

具体的には、関ヶ原の戦いを「争い」という視点で捉えたときに、関ヶ原の戦いと現代社会で起きている「争い」では、「争い」によって同じように命が失われているという点では同じであるにも関わらず、過去と現代という時代が変わることによって、抱く認識が異なることに着目する。そうした、認識の違いが生まれる要因がどこにあるのかを考えることを通して、社会的事象の捉え方を見直すことができるようにする。

見直した後に、「今日の学習は最後に何について考えたのか」を問うことで、「歴史を学ぶ」で始まった本時の学びが「歴史で争いを学ぶ」学習になっていることに気付けるようにする。そして、過去と現代の事象であっても関連付けながら、思考できる「応用可能な思考力」を育むことが歴史学習の目的であることを共有したい。

学びの振り返りでは「歴史を学ぶ意味は何か。」を考え、表現することで、これからの歴史学習を「歴史で学ぶ」ことを通して、過去と現在のつながりを考え続けたり、歴史と自分のつながりを考えたりするきっかけとした。

### 3 単元指導計画

学年	第6学年	単元名	歴史との対話（全8時間）
<b>単元で育む資質・能力</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な歴史や歴史上の人物、出来事を年表や各種資料などから読み取る活動を通して、年代の表し方や時代区分についての基本的な知識や大まかな歴史を理解することができる。〔知識及び技能〕</li> <li>・歴史上の人物や出来事、文化遺産について、知ったりまとめたりする活動を通して、歴史の大きな流れや時代の特色を考察し、その課程や結果を適切に表現することができる。〔思考力、判断力、表現力等〕</li> <li>・歴史的分野の学習を始めるにあたって、歴史を学習する意味について考え、これからの社会に生かそうとしている。〔学びに向かう力、人間性等〕</li> </ul>			
時	主な学習活動とねらい		評価規準
①	第1時：年表と岐阜県の歴史 <u>年表からあなたが気になることは何か。</u> ○年表や様々な資料を読み取る活動を通して、年代の表し方や時代区分などの基本的な知識や大まかな歴史をつかむことができる。		年表と関連する資料から興味・関心、疑問をもつことを通して、年代の表し方や時代区分についての基本的な知識や大まかな歴史をつかんでいる。〔知識・技能〕
②	第2時：関ヶ原の戦い <u>関ヶ原の戦いはどんな戦いなのか。</u> ○年表に記載されている、岐阜県内で起きた関ヶ原の戦いについて、各種資料から読み取る活動を通して、戦いに関係した人物やその背景などを理解することができる。		各種資料から関ヶ原の戦いの様子を調べる活動を通して、関係する人物やその背景について理解している。〔知識・技能〕
③ ④ ⑤	第3・4・5時：関ヶ原古戦場記念館見学 <u>関ヶ原の戦いはどんな戦いなのか。</u> ○映像や展示資料、学芸員の方の話から関ヶ原の戦いを考える活動を通して、戦いに関係した人物の人間関係や戦いの様子、原因を理解することができる。		古戦場記念館の方から話を聞いたり、展示資料から戦いの様子などを読み取ったりする活動を通して、関ヶ原の戦いに関係した人物の人間関係や戦いの様子、原因を理解している。〔知識・技能〕
⑥	第6時：みんなと考えたい『問い』 <u>見学からみんなと考えたい『問い』は何か。</u> ○事前学習や見学から、関ヶ原の戦いへの知的好奇心、興味・関心、疑問をもとに『問い』を立てる活動を通して、主体的に学習に取り組もうとする態度を養うことができる。		古戦場記念館の方のお話や展示物から、関ヶ原の戦いに知的好奇心、興味・関心、疑問をもち、仲間と考えたい『問い』を生み出している。 [主体的に学習に取り組む態度]
⑦	第7時：歴史との対話① <u>どうして、小早川秀秋は西軍をうらぎったのか。</u> ○仲間と立てた関ヶ原の戦いに関する『問い』を解決する活動を通して、社会的事象を多面的・多角的に考察し、表現することができる。		仲間と立てた関ヶ原の戦いに関する『問い』を解決する活動を通して、収集した情報をもとに社会的事象を多面的・多角的に考察し、表現している。〔思考・判断・表現〕

⑧ 本 時	第8時：歴史との対話② どうして、小早川秀秋は西軍をうらぎったのか。 ○関ヶ原の戦いに関する『問い』を対話する活動を通して、「争い」に対する自分の認識の違いに気づき、歴史を学ぶ意味を考え、表現することができる。	関ヶ原の戦いに関わる『問い』について対話することで、「争い」に対する自分の認識の違いに気づき、歴史を学ぶ意味を考え、表現している。 [思考・判断・表現]
<b>単元で自己実現に向かうための資質・能力を発揮している姿</b>		
問題解決力	<p>社会的事象に関する知的好奇心、興味・関心や疑問、課題を明らかにするための見通しをもち、探究的・対話的な学びを通して、<u>論理的・批判的に解決を図る姿。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自他と設定した『問い』や課題を解決する見通しをもち、探究的な学びを通して、歴史上の人物や出来事、文化遺産について、知り、歴史の大きな流れや時代の特色を考察し、表現する姿。</li> </ul>	
関係構築力	<p><u>よりよい方策・社会の在り方を創造するために、社会的事象に関する自身の考えを伝え、他者の考えを聴き、互いに認め合っている姿。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自他と設定した『問い』や課題の対話を通して、争いに関わる他者の価値観を共感的に聴く姿。</li> </ul>	
貢献する人間性	<p><u>既存の社会の在り方等を見直すことも含め、社会的事象に関する自他との対話を通して、多様な価値観に触れることで、ともに生きる社会を創造しようとする姿。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自他と設定した『問い』の対話を通して、自他の多様な価値観に触れ、歴史を学習する意味について考えることで、ともに生きる社会を創造する姿。</li> </ul>	
<b>自己実現に向かうための資質・能力を発揮している姿の見届けの視点と手立て</b>		
問題解決力	<p>児童自身で立てた『問い』を解決するために、地域の施設を活用したり、様々な資料を粘り強く読み取ったりする場の設定における、<u>多面的・多角的に自分の考えを広げたりしている姿を単位時間内の机間指導やワークシートの記述から見届ける。</u></p>	
関係構築力	<p>仲間と対話する中で、『問い』に関わる自分の考えを伝えたり、仲間の考えを聞いたりする場の設定における、<u>自己の主張を再構築したり、疑問に感じたことを尋ねたりしているのかを対話の様子やワークシートへの記述から見届ける。</u></p>	
貢献する人間性	<p>「身近な歴史に関わる『問い』」を仲間と対話する場の設定における、<u>自他の多様な価値観に触れ、自分と歴史との関係について考えることができているのかを、対話の様子やワークシートへの記述から見届ける。</u></p>	

#### 4 教科にかかわる本時のねらい

関ヶ原の戦いに関する『問い』を対話する活動を通して、「争い」に対する自分の認識の違いに気づき、歴史を学ぶ意味を考え、表現することができる。  
〔思考力、判断力、表現力等〕

#### 5 本時の展開（8/8）

児童の学習活動	教師の手立てと見届け
<p>1 これまでの学習を振り返り、『問い』を確認する。</p> <p>『問い』 どうして、小早川秀秋は西軍をうらぎったのか。</p> <p>2 各グループで交流したことを発表し、全体で共有をする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>【Aグループ】(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小早川は、これまで豊臣秀吉に土地を奪われて、西軍側にうらみがあったのではないかな。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>【Bグループ】(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の命を守るためには、石田三成の西軍ではなく、戦いを優位に進めていた東軍についての方が良い。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>【Cグループ】(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東軍の徳川家康に土地をもらったり、家族を助けてもらったりして恩があったから。</li> </ul> </div> </div> <p>【教師のファシリテート(例)】(○：教師の発問 ・：児童の発言)</p> <p>(グループごとの発表で)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小早川秀秋の裏切りは許されることなのか。</li> <li>・自分の命を守っていくためには、優位な方につくのがこの時代の生き方だと思うので、仕方がない。</li> <li>○自分が優位になるため、生きていくためには、あなたは人を裏切れるのか。</li> <li>・自分なら裏切れない。人を裏切るとは相手を傷つけてしまうことであり、なかなかできることではない。でも、自分が生きていくということを考えれば、裏切る、裏切らないの判断は難しい。</li> </ul> <p>【「争い」の視点で】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○前の単元で、戦争や紛争は「人を傷つけてしまういけないもの」とあなたたちは話したが、関ヶ原の戦いについて「おもしろそう」と答え、「いけないもの」と捉える人がいなかった。それはなぜか。</li> <li>○今の世の中にも戦争、紛争で多くの人が悲しい思いをしているのに、その「争い」と関ヶ原の戦いの「争い」は何が違うのか。人を傷つける、命を奪うという点では同じではないのか。なのに、歴史上の「争い」と現代社会の「争い」を同じように考えられないのはどうしてか。</li> <li>・実際に目の前で起きていくことではないので、リアリティがない。確かに関ヶ原の戦いも命がけの争いではあるが、現代と同じように考えられない自分がいた。でも、結局今も昔も人を傷つけあう争いがあることは変わらないと今思った。</li> <li>○人はどうして命をかけて「争い」をするのか。「争い」で人は何を求めるのか。</li> <li>・自分が幸せになるために争いをしていると思う。自分たちの国が幸せになるため争いをしている。</li> <li>○では、あなたは幸せな国を目指すときに、「争い」は必要だと思いますか？</li> <li>・必要ないと思う。日本は日本国憲法の平和主義をもとに、争いをしないことを誓っていると学習した。そのおかげで日本は争いをしない平和な国になっていると思うから。</li> <li>○先ほどは、幸せな国を作るために「争い」をしていると話してきたけれど、今は幸せな国にするために、「争い」は必要ないと考えた。これって、考え方として矛盾していると思うのだが、結局のところ、幸せな国を作るために「争い」は必要なの？</li> <li>・どの国も幸せな国になることは無理なのかな。「争い」をしなければ幸せになれないと考えるのは嫌。</li> </ul> <p>3 全体で共有したこと振り返り、歴史を学ぶ意味を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○今日は小早川秀秋の『問い』で学習してきたけれど、最後は何について考えたのか？</li> <li>・最後は、争いから幸せな国、命、平和などについて考えた。</li> <li>○歴史で「争い」、「平和」…について考えた今日の授業を通して、あなたは「歴史を学ぶ意味」は何だと思ふのか。</li> </ul> <p>4 学びの振り返りを行う。</p> <p>私は、歴史を学ぶとは人々が経験してきたことを覚えることだと思っていました。でも、そこから今の日本の政治、世界で起きている争いを考えていくことも歴史を学ぶことだと思いました。これからの歴史学習で勉強したことが自分の生活とどうつながっていくのかを考えていきたいです。</p>	<p><b>(●教科の資質・能力 ○自己実現に向かう資質・能力)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○●考えが異なる児童で意図的にグループを編成し、自分の考えを前時までに交流しておく。</li> <li>●前時までの学習を踏まえて、自分たちで立てた『問い』の意味について確認し、共有することで、そこに「みんなと話し合っ解決したい」という話し合いの必然性をもたせる。</li> </ul> <p><b>研究にかかわって</b></p> <p><b>【見届けの視点】</b></p> <p>『問い』を仲間と対話する場の設定における、自他の多様な価値観に触れ、歴史を学ぶ意味について考えることができているのかを、対話の様子やワークシートへの記述から見届ける。(貢献する人間性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○●全体共有の場では、児童の発言内容をもとに問いかけを行い、言葉の意味を明確にしたり、今の生活と関わらせて考えたりすることができるようにする。</li> <li>○●全体共有の場では、「争い」を軸に、「裏切り」、「国」、「幸せ」、「平和」、「命」、「国際社会」などの多様な視点で、対話を進めていけるようファシリテートを行う。視点をもとに、昔と今を往還しながら、学習の最後に「歴史を学ぶ意味」を考えることができるようにする。</li> <li>○●適宜、全体共有の場で、グループで対話する時間を確保することで、仲間との学びがより深められるようにする。対話の際には、内容を伝え合うだけでなく、なぜそう思ったのか尋ね合うよう声をかける。</li> <li>○●授業の終盤に「最後は何について考えたのか」を問うことで、授業最初は『問い』で歴史を知ろうとしていた自分が、仲間と対話することを通して、歴史で「争い」を学んでいたことを実感できるようにする。</li> </ul> <p><b>【評価規準】</b></p> <p>関ヶ原の戦いに関わる『問い』について対話することで、「争い」に対する自分の認識の違いに気づき、歴史を学ぶ意味を考え、対話やワークシートで表現している。〔思考・判断・表現〕</p>

## 【公開Ⅱ】8年2組 社会科学習指導案

南舎2階多目的ホール 大坪 雅詩

1 単元名 日本の諸地域 中国・四国、関東地方  
～交通網と人々の暮らし～

### 2 指導の立場

#### (1) 題材について

本単元は、地理的分野の内容(3)アとイにもとづく単元である。

具体的に、交通や通信を中核とした考察の仕方について、地域の道路や鉄道、航路や航空路、通信網などの交通・通信に関する特色ある事象を中核として、それをそこでの産業や人口や都市・村落などに関する事象と関連付け、交通・通信が地域の産業や都市への人口の集中と村落などの過疎化と深い関係をもっていることや、地域間の結び付きの整備が地域の課題となることなどについて考察する学習である。

本校では、日本の諸地域を指導要領解説に示されている5つ考察の仕方をもとにカリキュラムを編成している。それを踏まえ本単元では、交通や通信を中核とした考察の仕方に関東地方と中国・四国地方を捉え、カリキュラムマネジメントを行い、学習することとしている。日本を交通・通信の面から見ると、関東地方は日本の首都である東京都があることから、日本の中核機能が集中し、交通・通信網が東京都を中心として発達している。また、世界の国々と結びついた世界的な都市であり、国内外との結び付きがあり、人口が集中する地域である。一方で、中国・四国地方は、瀬戸内海にある島々や四国と本州を結ぶ、本州四国連絡橋の整備された地域である。不便な暮らしをよくするために、整備されたものであったが、地方都市の人口や産業が大都市に吸い寄せられるやストロー現象が起り、人口の減少や少子高齢化を招き、過疎化が深刻な問題となっている。また、利用者の少ない鉄道やバスの路線が廃止されるなど、地域間を結ぶ交通網の整備が課題となっている。通信網の整備が進み、テレワークを活用して、遠い所で働くことができる現代であっても都市への人口の集中は避けられないのが現状である。

このようなそれぞれの地域にある特色とそこから生じる課題を産業の課題や人口の問題と関連付けて考察することができるようにする。

#### (2) 児童生徒について

本校の生徒の多くは、電車やバスなどの公共交通機関を使って登下校している。また、スマートフォンなどで通信網を使って家族や友人とコミュニケーションを取ることも日常である。更に、自動車を所有している家庭も多く、外出する際のほとんどは自家用車を使って移動をしている。これは生徒が生活をしている岐阜という地域が、日本の三大都市圏の1つにあり、ベッドタウンとなっているからである。また、高速交通網を利用する機会は、長期休暇の旅行や帰省などの長距離移動がほとんどである。

このような生徒が、高速交通網の整備によって地域で生活する人々の暮らしが変容してきたことや、地域に影響を与えていることを理解できるようにする。次に、交通・通信網の発展が人口の過密や過疎の問題と密接に関わることや、地域間の結び付きが生み出す課題について、多面的・多角的に考察する。そして、交通・通信網の在り方を捉え直し、地域的特色や地域の課題を自分の生活と関連付けながら考える生徒を育成する。

#### (3) 指導について

本単元の終末には、パフォーマンス課題を設定し、リニア中央新幹線は何にどんな影響をもたらすと言えるのかを考え、表現する活動を位置付ける。その活動を通して、リニア中央新幹線がつくり出す新たな人の結び付きや地域の結び付きが、産業を発展させ、人々の暮らしの利便性の向上や、都市への人口の集中や村落の過疎化にも影響を及ぼすことを理解し、交通網の整備がもたらす様々な影響を考察して表現する姿を目指す。そのために、これまで過疎・過密の問題について考える際には地域の生活文化や産業と深い関係があることを扱い、産業を中心とした考察の仕方では産業の振興と環境保全との両立など持続可能な社会づくりが地域の課題になっていることを、多面的・多角的に考察することができるようにカリキュラムを編成し、指導してきた。そして本時は、これまでの学習内容を踏まえ、交通網の発展による人や地域の結び付きの変化を多面的・多角的に考察する中で見られる個々の価値観を対話する活動を位置付ける。そして、その活動を通して、交通・通信網の発展に内在する多様な価値観に気づき、人々の暮らしを交通や通信から見直そうとすることができるように指導する。

### 3 単元指導計画

学年	第8学年	単元名	日本の諸地域 中国・四国、関東地方 ～交通網と人々の暮らし～（全12時間）
単元で育む資質・能力			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・関東地方、中国・四国地方についての地域的特色や交通・通信に関わる社会的事象、それに関連する地域の課題を理解することができる。〔知識及び技能〕</li> <li>・交通・通信の成立条件を地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して考え、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察、表現することができる。〔思考力、判断力、表現力等〕</li> <li>・交通・通信に関わる社会的事象から、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究することができる。〔学びに向かう力、人間性等〕</li> </ul>			
時	主な学習活動とねらい		評価規準
①	第1時：『問い』の設定 みんなで考えたい『問い』は何か。 ・関東地方、中国・四国地方の特色を踏まえて、興味・関心、疑問を基に、探究テーマを踏まえた『問い』をつくり出すことができる。		関東地方、中国・四国地方の特色を踏まえて、興味・関心、疑問をもとに、探究テーマを踏まえた「問い」をつくり出している。〔主体的に学習に取り組む態度〕
② ③	第2・3時：関東地方の白地図づくり 関東地方には、どのような特色があるか。 ・関東地方について、人口分布図や統計グラフなどの資料から概観し、基礎的・基本的な知識を身に付けることができる。		山地に囲まれた広大な平野と特色ある気候、日本最大の人口密集地域、日本の交通と通信の中心地などの特色を理解し、その知識を身に付けている。〔知識・技能〕
④ ⑤	第4・5時：中国・四国地方の白地図づくり 中国・四国地方にはどのような特色があるか。 ・中国・四国地方について、人口分布図や統計グラフなどの資料から概観し、基礎的・基本的な知識を身に付けることができる。		自然環境の異なる三つの地域、盛んな農業、人々の生活や産業を変えた交通・通信網の整備、瀬戸内に集中する人口などの特色を理解し、その知識を身に付けている。〔知識・技能〕
⑥	第6時：世界と結びつく首都東京と交通 日本の首都東京にはどのような特色があるか。 ・東京に中枢機能が集中し、日本や世界各地との結び付きが強いことに気付き、首都と世界の国々との結び付きを表現することができる。		関東地方と世界との結び付きについて、在留外国人数、大使館の分布などの資料を基に、多面的・多角的に考察し、表現している。〔思考・判断・表現〕
⑦	第7時：東京大都市圏の暮らしと交通 東京大都市圏の暮らしにはどのような結び付きがあるか。 ・東京大都市圏における都心部と郊外の人口動態に着目し、その結び付きと課題について理解することができる。		東京の都心部と郊外の関係について、通勤・通学や都市機能の分散、交通網の特色を理解し、その知識を身に付けている。〔知識・技能〕



#### 4 教科にかかわる本時のねらい

リニア中央新幹線は、何にどんな影響をもたらすと言えるのかを追究し、交通網の整備がもたらす様々な影響を考察し、表現する活動を通して、交通・通信網の発展に内在する多様な価値観に気付き、人々の暮らしを交通や通信から見直そうとすることができる。〔学びに向かう力、人間性等〕

#### 5 本時の展開 (12/12)

児童生徒の学習活動	教師の手立てと見届け		
<p><b>1 P課題、各グループの主張と各主張に対する意見を確認する</b></p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">【P課題】リニア中央新幹線は、何にどんな影響をもたらすと言えるのか。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京と大阪を今までよりも短時間で結ぶことができるから、暮らしが便利になるだけでなく、産業が発展し都市も発展する。</li> <li>・さらに三大都市圏に人口が集中することで、都市問題と、地方の過疎化が今よりも課題となる。</li> </ul> </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京と大阪を結ぶ新幹線が2本あることになり、移動できる範囲が広がるから、日本全体の観光業が盛んになると言える。</li> <li>・新幹線の沿線にある地域とそうでない地域との格差が広がる心配がある。沿線地域の環境問題や都市問題も考える必要がある。</li> </ul> </td> </tr> </table> <p><b>2 論点を整理し、対話を焦点化する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利便性の向上や産業の発展の裏で、過密や過疎の問題がある。でもどうして人々は利便性を追求するのか。また、どうして人々は都市に魅力を感じるのか。</li> </ul> <p><b>3 単元導入時に設定した「問い」との関連を見だし、対話する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動時間のことだけ考えれば、リニア中央新幹線がもたらすよい影響はたくさんある。けれど、環境問題や人口の問題だけでなく、地域の生活や文化などのことも考えることが大事だから、駅のあるなしに関わらず、岐阜にも駅ができるということは岐阜県内でも不利益を受ける人がいる可能性があることを考えていきたい。</li> <li>・日本全体で考えると高速交通網の整備によってますます産業が発展し、暮らしが便利で豊かになっていくことが考えられるが、沿線地域の環境問題や都市問題、沿線にない地方の過疎化に、どのように向き合っていくべきなのか。画一的な社会になっていくことで地域の特色が見えにくくなったり、失われたりする可能性がある。</li> </ul> <p><b>4 振り返りを行う</b></p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">リニア中央新幹線を通して、交通網から地域の産業や人口などを改めて考えることができた。最初は、交通網が整備されることは便利で豊かになることだと考えていたけれど、交通網は地域を大きく変える可能性のあるものだと改めて感じた。自分の住む地域の交通網が地域の暮らしに、どのような影響を与えているか、これから考えてみたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京と大阪を今までよりも短時間で結ぶことができるから、暮らしが便利になるだけでなく、産業が発展し都市も発展する。</li> <li>・さらに三大都市圏に人口が集中することで、都市問題と、地方の過疎化が今よりも課題となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京と大阪を結ぶ新幹線が2本あることになり、移動できる範囲が広がるから、日本全体の観光業が盛んになると言える。</li> <li>・新幹線の沿線にある地域とそうでない地域との格差が広がる心配がある。沿線地域の環境問題や都市問題も考える必要がある。</li> </ul>	<p><b>(●教科の資質・能力 ○自己実現に向かう資質・能力)</b></p> <p>○●自分のグループの考えについての理由付けや根拠を丁寧に問い返すことで、思考の過程を表現できるよう援助する。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <b>研究にかかわって</b>  <b>【見届ける視点】</b>                      学習課題を産業の発展や人口の問題、地域間の格差と関連付けながら考え、表現する姿を記述や発言から見届ける。(問題解決力)                 </p> <p>○●生徒が学びと単元導入時の「問い」との関連を見出す場を位置付けることで、単元の学びを振り返るとともに、自分の生活経験と結び付けて対話ができるようにする。</p> <p>○●対話によって学びがより深められるよう、交流の際には、教師が意図的にファシリテートを行い、内容を伝え合うだけでなく、質問や意見交流を積極的に行えるように声をかけ、対話する姿を価値付ける。</p> <p>○●自分の考えの変容を振り返ることができるように記述や板書から振り返ることを促す。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>【評価規準】</b>                      交通・通信網の発展に内在する多様な価値観に気付き、人々の暮らしを交通や通信から見直そうとしている。                      [主体的に学習に取り組む態度]                 </p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京と大阪を今までよりも短時間で結ぶことができるから、暮らしが便利になるだけでなく、産業が発展し都市も発展する。</li> <li>・さらに三大都市圏に人口が集中することで、都市問題と、地方の過疎化が今よりも課題となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京と大阪を結ぶ新幹線が2本あることになり、移動できる範囲が広がるから、日本全体の観光業が盛んになると言える。</li> <li>・新幹線の沿線にある地域とそうでない地域との格差が広がる心配がある。沿線地域の環境問題や都市問題も考える必要がある。</li> </ul>		

## 【公開Ⅰ】 9年3組 社会科学学習指導案

南舎2階多目的ホール 岸 周吾

### 1 単元名 私たちと政治 ～民主政治と政治参加～

### 2 指導の立場

#### (1) 題材について

本単元は、「2内容 C 私たちと政治」(2)ア(ア)(イ)、イ(ア)に基づく単元である。具体的には、対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解したり、議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用の在り方について理解したりする。「C 私たちと政治」の学習において最も大切にすべきことは、生徒に「地方自治や我が国の民主政治の発展に寄与しようとする自覚や住民としての自治意識の基礎を育成すること」である。そのため、民主政治の推進と公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察し、構想し、表現する。

また、本単元は第6学年の「2内容」(1)ア(ア)とイ(ア)とも関係している。生徒は、国会が国権の最高機関であり、国の唯一の立法機関として法律の制定や予算の議決、条約の承認などを行っていること、内閣が国の行政権をもち、法律や予算にもとづいて実際の政治を行っていること、裁判所が司法権をもち、法律にもとづいて裁判を行っていることを取り上げ、三権がそれぞれ大切な役割を果たしていることや、三権が相互に関連し合っていることを第6学年で学習している。また、選挙は国民の代表者を選出する大切な仕組みであること、国民の代表者として選出された国会議員は国民生活の安定と向上に努めなければならないこと、国民は代表者を選出するため、選挙権を行使する必要があることを多面的・多角的に考察し、構想し、表現する経験を得ている。

さらには、「2内容 C 私たちの政治」(1)人間の尊重と日本国憲法の基本的原則ア(ア)～(エ)、イ(ア)にも関係する。なぜなら、本単元で取り扱う現代の民主政治や社会は、基本的人権の理念によって支えられ成立しているからである。

このように、本単元は前期課程・後期課程の学習内容を踏まえた、中長期的な視野に立ったカリキュラム・マネジメントが求められる単元であり、系統的かつ発展的に学びを進める機会が存在する魅力的な題材である。

#### (2) 児童生徒について

生徒は社会科におけるこれまでの学びにおいて、社会的事象に関する、自らの知的好奇心、興味・関心、疑問等を基にして『問い』を立て、『問い』の解決や対話を経てきた。そして、『問い』に対する納得解や最適解を導く経験だけでなく、『問い』の連続性に触れ、「さらに、『問い』が生まれて、わからなくなった…」という複雑な感情を抱く経験も重ねている。また、『問い』だけでなく、生徒の文脈をいかしたパフォーマンス課題を通して、必要な情報を取捨選択し整理してまとめたり、それらの情報から根拠を基に自身の主張を構成したりする経験もしている。社会的事象を多面的・多角的、批判的に思考し、対話してきた第9学年の生徒である。だからこそ、本単元を通して「民主主義とは何か？」を如何にして創りあげるか、「…から私は、民主主義とは…」という根拠に導かれた社会認識の基、さらにもう一歩、学びを深め、広げようとする生徒の意識、姿を期待したい。そのような姿は、主体的に学習に取り組む態度を体現した生徒の姿であり、ともに生きる社会を創造するために必要な人間性を兼ね備えた生徒の姿である。

#### (3) 指導について

本時は、本校社会科部研究主題にもある「ともに生きる社会を創造する生徒」の育成につながる、考え続ける「きっかけ」を提供する。そのためにも、生徒が自ら『問い』を立て、探究し、根拠を明確にして主張し、多様な価値観をもつ他者との対話の経験を意図的に構成する。本時は、岐阜市にある旧南庁舎跡地の活用方法を考えることを通して、「民主主義とは何か？」に迫る授業として本実践を設定する。ガート・ビースタ(Biesta, G.)は、「民主主義は実際に危機にある」と指摘する一方で、意見の一致だけでなく、不一致(ディセンサス)を踏まえた、学校教育における「民主主義の経験」をいかにして提供できるかが、私たち教師に求められていることと述べている。私たちの社会において民主主義は、意見の一致だけでなく、不一致にこそ存在し、成立する。だからこそ、自他との対話を通して、様々な価値観に触れ、自身の内面を広げていく「きっかけ」を得る学びを、実社会から見いだし、教材化して指導・援助することについて検証していきたい。

### 3 単元指導計画

学年	第9学年	単元名	私たちと政治 ～民主政治と政治参加～ (全16時間)
<b>単元で育む資質・能力</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや、政党の役割を理解することができる。〔知識及び技能〕C(2)ア(ア)(イ)</li> <li>・民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察し、構想し、表現することができる。〔思考力、判断力、表現力等〕C(2)イ(ア)</li> <li>・民主政治に関する『問い』への多様な価値観を踏まえ、内省することで、考え続けるきっかけを得ることができる。〔学びに向かう力、人間性等〕</li> </ul>			
時	主な学習活動とねらい		評価規準
①	第1時：『問い』の設定 <b>探究テーマ「民主主義と私」を踏まえ、みんなと考えたい「問い」は何か。</b> ・現代の民主政治の特徴を、資料を参考に大観することを通して、社会的事象に対する自身の知的好奇心、興味・関心、疑問に気付き、探究テーマを踏まえた「問い」を立てることができる。		探究テーマを踏まえ、社会的事象に関する自身の知的好奇心、興味・関心、疑問を基に「問い」を立てている。〔主体的に学習に取り組む態度〕
②	第2時：誰を市長に選ぶ？ <b>S市の市長には、誰を選ぶべきか。</b> ・工場移転に伴う跡地の活用方法を多面的・多角的に考えることを通して、土地活用の主張に内在する自他の価値観に気付き、自身の主張を支える価値観を自覚することができる。		各々の主張を伝え合うことを通して、自身の主張を内省することで、優先している価値観を自覚している。〔主体的に学習に取り組む態度〕
③	第3時：政治と民主主義 <b>政治とは何か？</b> ・政治に関わる様々な主義や具体的な事例を分析することを通して、政治の特徴や民主政治の特徴に気付き、人々がよりよい社会を創造する為に大切にすべきことを理解することができる。		政治とは、より良い社会を創りあげるための一つの方法であることを、具体的な政治、主義の事例の考察を通して理解している。〔知識・技能〕
④	第4時：選挙の意義と仕組み <b>現代において、選挙とはどのような仕組みで行われるのか。</b> ・現代の選挙制度の特徴を、資料を参考に多面的・多角的に考えることを通して、効率・公正の視点に基づく基本原則や選挙制度の仕組みに気付き、多種多様な人間が織りなす社会を創造するための制度であることを理解することができる。		現代の選挙制度は、多種多様な人間が主張する多様な意見をできるだけ多く反映させ、ともに生きる社会を創造するための制度であることを理解している。〔知識・技能〕
⑤	第5時：政党の役割 <b>現代において、どのような役割が政党にはあるのか。</b> ・現代の政党の役割を、諸資料を参考に考えることを通して、効率・公正の視点に基づいて政党という制度が存在することが大切であることに気付き、国民と政治家の双方向のつながりを作るという重要な役割を担うことを理解することができる。		現代の政党が、国民と政治家の双方向のつながりを作るという重要な役割を担うことを理解している。〔知識・技能〕
⑥	第6時：マスメディアと世論 <b>現代において、どのような役割がマスメディアにはあるのか。</b> ・現代のマスメディアの役割を、諸資料を参考に考えることを通して、マスメディアは世論の形成に大きな影響をもっていることに気付き、様々な立場の人々が効率・公正の視点から主体的に情報を吟味して政治と関わる大切だと考えることができる。		情報化の進んだ現代社会において、マスメディアの役割を踏まえ、自身の政治との関わり方を多面的・多角的に考え、表現している。〔思考・判断・表現〕
⑦	第7時：選挙の課題と私たちの政治参加 <b>現代の選挙には、どのような課題があるのか。</b> ・現代の選挙に関する課題を、諸資料を参考に考えることを通して、効率的で公正な現代の選挙の歪や、棄権の現状に気付き、それらの課題の解決策を構想することができる。		現代の選挙に関する課題を捉え、その課題に対する解決策を選択・判断し、表現している。〔思考・判断・表現〕
⑧	第8時：岐阜市旧南庁舎跡地をどう活用する？ <b>【パフォーマンス課題】を、どのように捉えるか。</b> ・各自の学びの経験を基にパフォーマンス課題を吟味することを通して、自分たちで課題に迫るための探究の視点を設定する大切さに気付き、現地での活動に向けて様々な探究方法を構想することができる。		パフォーマンス課題を捉え、探究の視点を設定し、探究方法を選択・判断している。〔思考・判断・表現〕

⑨ ⑩	第9・10時：フィールドワーク 近隣住民や該当で出会った人々は、旧南庁舎の活用をどのように考えているのか。 ・ 岐阜市民、周辺住人の思いを聞いたり、現地の雰囲気を感じたりすることを通して、体験や収集した一次資料の大切さに気づき、パフォーマンス課題を自分事とすることができる。	自身で設定した探究方法の実施によって多面的・多角的な一次資料を収集することで、主張構成への見通しをもっている。 [主体的に学習に取り組む態度]
⑪ ⑫	第11・12時：一次資料等の整理・パフォーマンス課題に対する主張の構成 手に入れた一次資料等を、どのように活用するのか。 ・ 現地でのフィールドワークで手に入れた一次資料の内容を整理することを通して、自身の主張を構成するために必要な情報を取捨選択することで、パフォーマンス課題に対する主張の根拠を明確にすることができる。	様々な資料から適切な資料を選択し、多面的・多角的に思考し、パフォーマンス課題に対する主張を表現している。 [知識・技能]
⑬ ⑭	第13・14時：小グループによる主張の交流、主張の再構築 仲間の主張と自身の主張を踏まえると、何が見えてくるのか。 ・ 課題に対する各自の主張を交流することを通して、各候補者の公約には、効率や公正の視点から多種多様な立場の人々のより良い暮らしを創造するための願いが込められていることに気づき、仲間と導き出した「納得解」や「最適解」に内在する価値観を表現することができる。	自他の主張を踏まえ、集団としての主張を構想することで、仲間と共に「最適解」または「納得解」を導き出し、表現している。 [思考・判断・表現]
⑮	【本時】 第15時：主張の全体交流 ～主張の交流から「問い」の対話へ～	【本時参照】 [主体的に学習に取り組む態度]
⑯	第16時：単元のまとめ ～3節「地方自治と私たち」の学びへの接続～ 1節の学びを踏まえた、探究テーマ「民主主義と私」とは。 ・ 本単元の学びを振り返ることを通して、現代の民主政治に必要なことに気づき、探究テーマ「民主主義と私」に関する自身の意見を構想することができる。	自身の学びを振り返り、自身の変容を自覚し、探究テーマ「民主主義と私」に対する考えを、表現している。 [思考・判断・表現]
<b>単元で自己実現に向かうための資質・能力を発揮している姿</b>		
問題解決力	社会的事象に関する知的好奇心、興味・関心や疑問、課題を明らかにするための見通しをもち、探究的・対話的な学びを通して、論理的・批判的に解決を図る姿。 ・ 民主政治に関わって、自他と設定した『問い』から派生した課題を解決するために、探究方法の吟味、フィールドワークによる一次資料の収集、入手した情報整理等を通して、学び方を選択し、情報を効果的に使用して、連続的に学ぶ姿。	
関係構築力	よりよい方策・社会の在り方を創造するために、社会的事象に関する自身の考えを伝え、他者の考えを聴き、互いに認め合っていく姿。 ・ 民主政治に関わって、自他と設定した『問い』の対話を通して、他者の価値観やそれらに関わる個人的経験を共感的に聴く姿。	
貢献する人間性	既存の社会の在り方等を見直すことも含め、社会的事象に関する自他との対話を通して、多様な価値観に触れることで、ともに生きる社会を創造しようとする姿。 ・ 他者を自分とは異なる存在だと認めた上で、共感的に聴き、それを踏まえて内省したり自分にできることを調整したりする姿。	
<b>自己実現に向かうための資質・能力を発揮している姿を生み出すための手立てと見届けの視点</b>		
問題解決力	・ 社会科における見方・考え方、既習学習を用いて、『問い』や課題、実社会の問題等の解決に取り組む場の設定における、学んだことをいかしたり、願いをもったり、自分のアプローチを柔軟に変えていったりする交流時の言動やワークシートへの記述。	
関係構築力	・ 様々な立場の人へ思いを馳せ、想像したり、他者の主張（価値観）を共感的に聴いたりすることで、受け入れ、自己の主張を再構築する場の設定における、折り合いをつけたり、寄り添ったり、分かち合ったりする交流時の言動やワークシートへの記述。	
貢献する人間性	・ 自身の成長、新たな知的好奇心、興味・関心、疑問等に気付くための対話、単元終末での探究テーマに対する振り返りの場の設定における、自他を認めたり、相手や社会への敬意を抱いたり、創造性を発揮したりする交流時の言動やワークシートへの記述。	

#### 4 教科にかかわる本時のねらい

岐阜市の旧南庁舎跡地の活用方法を多面的・多角的に探究することで構成した主張を交流することを通して、跡地活用の社会問題に内在する多様な価値に気づき、自分とは根本的に異なる他者の価値観を尊重しながら、ともに生きようとする態度を養うことができる。〔学びに向かう力、人間性等〕

#### 5 本時の展開 (15/16)

児童生徒の学習活動	教師の手立てと見届け				
<p>【P課題】岐阜市では来月、市長選挙が行われます。候補者はAさん、Bさん、Cさん…。</p> <p>1 P課題を確認し、各グループの主張を発表し、その発表に対して質問をする</p> <table border="1" data-bbox="219 478 1355 790"> <tr> <td data-bbox="219 478 504 790"> <p>【1G】A候補 都市型公園建設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この案には、最大多数の最大幸福が実現できる可能性があると考えています。なぜなら、公園という施設…。</li> </ul> </td> <td data-bbox="504 478 788 790"> <p>【2G】B候補 リサイクルセンター建設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近年、多くの場所でSDGsが求められています。今の世代の幸福と将来の世代の幸福の両方を実現できて…。</li> </ul> </td> <td data-bbox="788 478 1072 790"> <p>【3G】C候補 体験型テーマパーク建設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近年は不況が続いています。岐阜市という都市の機能、…雇用を生み出すことや、人の流れを活性化させ…。</li> </ul> </td> <td data-bbox="1072 478 1355 790"> <p>【4G】D候補 総合福祉センター建設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多くの人が、自分らしくよりよく生きることが大切であると…互いの人権を尊重できる都市であることが…。</li> </ul> </td> </tr> </table> <p>・4Gの近隣住民の人権を大切にするという考え方に私は賛成です。でも、全ての人…</p> <p>2 発表と質問で導き出された「価値観」について、対話を焦点化する</p> <p>○皆の意見…跡地活用の選択の裏側には、…という価値観と…という価値観が…存在していると思う。…皆が立てた『問い』の「…」につながっているのではないかな？</p> <p>3 生徒が設定した「問い」を対話する</p> <p>○「民主主義」とはどのようなものですか？それを、あなたの経験から導き出せますか？</p> <p>・当初、私は…だと考えていました。…私たちが実際に現地で出会った人々と話をする中で、…。私は（私の個人的経験から）、民主主義とは意見の相違があってこそ成り立つ主義なのだと考えます。でも、私たちは意見が異なることを本能的に嫌がります…。</p> <p>4 学びの自己評価を行う</p> <p>・私は、多様な民主主義の一面を見ていたのだと、Aさんの意見を聞いたり、仲間と対話したりして、今、考えています。民主主義というのは、全ての人の豊かな生活のために、争いごとや問題を話し合い、よりよい解決策を見出していくことだと、以前の授業で考えました。実際、「みんなで話し合うこと」が「民主主義」というものだと、…けれど、今日の授業を通して、一つの問題に対して様々な立場の人の意見があり、…。</p> <p>5 教師から本時の学びについて話をして、次の学びへとつなげる</p>	<p>【1G】A候補 都市型公園建設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この案には、最大多数の最大幸福が実現できる可能性があると考えています。なぜなら、公園という施設…。</li> </ul>	<p>【2G】B候補 リサイクルセンター建設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近年、多くの場所でSDGsが求められています。今の世代の幸福と将来の世代の幸福の両方を実現できて…。</li> </ul>	<p>【3G】C候補 体験型テーマパーク建設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近年は不況が続いています。岐阜市という都市の機能、…雇用を生み出すことや、人の流れを活性化させ…。</li> </ul>	<p>【4G】D候補 総合福祉センター建設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多くの人が、自分らしくよりよく生きることが大切であると…互いの人権を尊重できる都市であることが…。</li> </ul>	<p><b>教師の手立てと見届け</b></p> <p>（●教科の資質・能力 ○自己実現に向かう資質・能力）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●本単元を通して、生徒が自ら設定した「問い」を連続的に学んできたことを踏まえ、生徒の知的好奇心、興味・関心・疑問を活用してさらに学びを深めるために、「P課題」から『問い』へと、生徒の学びを接続させる対話を構成する。</li> <li>●主張の交流では、共感的に聴くことを促し、生徒間の評価ではなく質問をすることで、教室内にリレーションを生み出す。また、同時に教師も介入し、発言に内在していた「価値観」を浮き彫りにすることで、その後の対話における『問い』に接続させる。</li> <li>●対話においては、生徒の個人的経験を語れるよう、フィールドワークでのメモ等を活用させる。</li> </ul> <p><b>研究にかかわって</b></p> <p>【手立てと見届けの視点】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 自分たちで設定した『問い』に関して、これまでの文脈を踏まえた上で、個人的経験を語ったり、他者の価値観を踏まえたりして対話する場の設定。（対話での言動・ワークシートへの記述）</li> <li>② 学びの自己評価として、これまでの学びを自己評価し、自身の変容・考えの広がり・きっかけを得るための場の設定。（ワークシートへの記述・発表での発言内容）</li> </ol> <p style="text-align: right;">（貢献する人間性）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●意見の一致（コンセンサス）と意見の不一致（ディセンサス）に言及している生徒の自己評価を発表させることで、「民主主義とは何か？」を授業後も考えるきっかけを提供する。</li> </ul> <p>【評価規準】</p> <p>実社会の問題に内在する自他の多様な価値観に触れることで、自分とは異なる他者とともに生きるきっかけを得ようとしている。〔主体的に学習に取り組む態度〕</p>
<p>【1G】A候補 都市型公園建設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この案には、最大多数の最大幸福が実現できる可能性があると考えています。なぜなら、公園という施設…。</li> </ul>	<p>【2G】B候補 リサイクルセンター建設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近年、多くの場所でSDGsが求められています。今の世代の幸福と将来の世代の幸福の両方を実現できて…。</li> </ul>	<p>【3G】C候補 体験型テーマパーク建設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近年は不況が続いています。岐阜市という都市の機能、…雇用を生み出すことや、人の流れを活性化させ…。</li> </ul>	<p>【4G】D候補 総合福祉センター建設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多くの人が、自分らしくよりよく生きることが大切であると…互いの人権を尊重できる都市であることが…。</li> </ul>		